

株主の皆様へ 第125期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

証券コード 4113

環 境

暮らし

化 学

田岡化学工業株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。当社グループの当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）の業績の概況について、ご報告申しあげます。

さて、当期間の世界経済は全般的には堅調に推移しましたが、足元ではウクライナ情勢に加え、中東情勢の緊迫化など地政学リスクが増大していることや、欧米の金利政策の影響など金融面でのリスク、中国の景気の低迷、米国の大統領選挙による大幅な政策転換の可能性など政治面でのリスクもあり先行きは不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況のなか、当社グループの業績に関して、売上高は、樹脂原料が減少したもののワニスやゴム薬品の出荷数量の増加と可塑剤の販売価格の是正等により、150億62百万円となり、前中間連結会計期間（以下、「前年中間期」）に比べて2億50百万円の増収となりました。

損益面におきましては、交易条件の改善や原価の低減等により、営業利益は8億98百万円（前年中間期比3億24百万円増）、経常利益は9億48百万円（同3億28百万円増）、親会社株主に帰属する中間純利益は6億38百万円（同1億79百万円増）となりました。

なお、当期の中間配当金は、当初予想のとおり、1株につき9円として実施させていただくこととしました。

このような状況のもと、更なる収益の向上に向けて新製品の早期開発・事業化、新規受託製造の拡大、既存事業の競争力強化等に全社をあげて取り組んで参ります。

また、昨今のデジタル・トランスフォーメーションの進展、サステナビリティを巡る課題への取り組み等、社会の大きな変革への対応が企業に強く求められており、当社といたしましても、各種の取り組みを推進して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

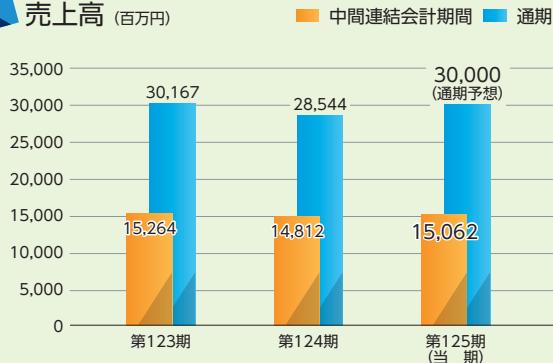


代表取締役社長 佐々木 康彰

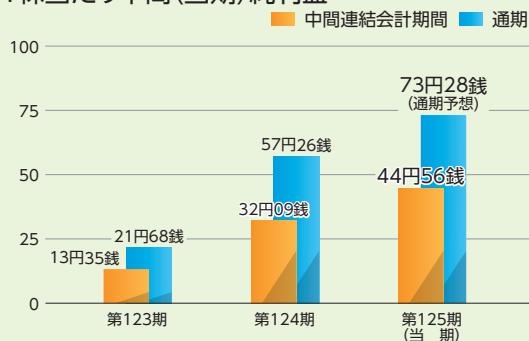
2024年11月

代表取締役社長 佐々木 康彰

売上高 (百万円)



1株当たり中間(当期)純利益



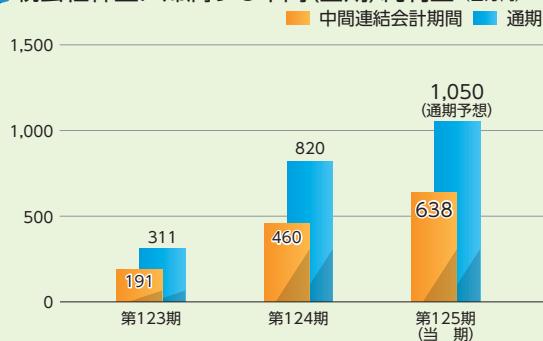
経常利益 (百万円)



総資産 (百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)



純資産 (百万円)



(金額の表示単位の変更について)

当社は従来、端数処理を千円未満切捨としておりましたが、当中間連結会計期間より百万円未満を四捨五入しております。当該変更に伴い、前連結会計年度及び前連結会計期間についても百万円未満を四捨五入して表示しております。

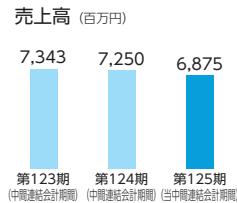
化学工業セグメント 売上高 147億50百万円

当セグメントの売上高は、147億50百万円となり、前中間連結会計期間と比べて2億27百万円の増収となりました。



精密化学品事業部 売上高 68億75百万円 医薬中間体、農薬中間体、電子材料、樹脂原料

樹脂原料の出荷数量が減少したため、売上高は68億75百万円となり、前中間連結会計期間と比べて3億75百万円の減収となりました。



機能材事業部

接着剤、ゴム薬品

売上高 17億91百万円

ゴム薬品の出荷数量の増加等により、売上高は17億91百万円となり、前中間連結会計期間と比べて1億4百万円の増収となりました。

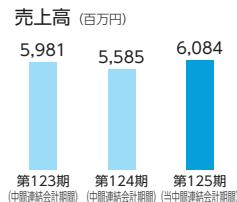
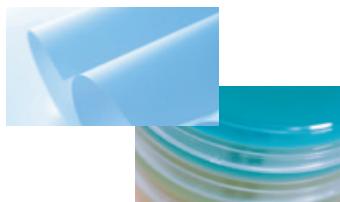


樹脂添加剤事業部

紙用加工樹脂、ワニス、可塑剤、その他工業薬品

売上高 60億84百万円

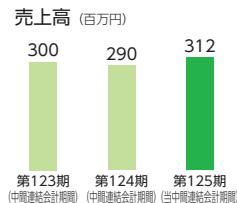
ワニスの出荷数量が増加したため、売上高は60億84百万円となり、前中間連結会計期間と比べて4億99百万円の増収となりました。



化学分析受託事業セグメント 売上高 3億12百万円

各種環境分析、一般化学品・工業材料分析等

当セグメントの売上高は、土壌分析などで増加したため、3億12百万円となり、前中間連結会計期間と比べて23百万円の増収となりました。



中間連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2024年3月31日現在)	当中間連結会計期間末 (2024年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	15,167	15,349
固定資産	14,553	14,529
有形固定資産	13,310	13,240
無形固定資産	49	42
投資その他の資産	1,194	1,247
資産合計	29,720	29,878
(負債の部)		
流動負債	8,278	8,085
固定負債	4,230	4,047
負債合計	12,509	12,132
(純資産の部)		
株主資本	16,994	17,503
その他の包括利益累計額	217	242
純資産合計	17,211	17,746
負債・純資産合計	29,720	29,878

■ 中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	当中間連結会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)
売上高	14,812	15,062
売上原価	12,513	12,387
売上総利益	2,299	2,675
販売費及び一般管理費	1,726	1,778
営業利益	573	898
営業外収益	54	55
営業外費用	6	4
経常利益	620	948
特別損失	2	96
税金等調整前中間純利益	618	852
法人税等	159	214
親会社株主に帰属する中間純利益	460	638



ポイント解説

資産

流動資産は、前連結会計年度末と比べて1億82百万円増加し、153億49百万円となりました。商品及び製品は減少しましたが、現金及び預金やその他に含まれる預け金が増加しました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて24百万円減少し、145億29百万円となりました。これは主として減価償却が進んだことによるものです。

この結果、当中間連結会計期間末の総資産額は298億78百万円となり、前連結会計年度末と比べて1億58百万円増加となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末と比べて1億94百万円減少し、80億85百万円となりました。買掛金が増加しましたが、その他に含まれる未払金や設備関係未払金は減少しました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて1億83百万円減少し、40億47百万円となりました。これは、主として長期借入金の返済を行ったためです。

この結果、当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて3億77百万円減少し、121億32百万円となりました。

純資産

当中間連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べて5億35百万円増加し、177億46百万円となりました。

株式の状況

発行可能株式総数	24,000千株
発行済株式の総数	14,440千株
株主数	3,836名

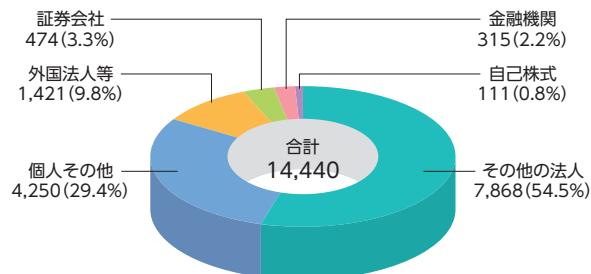
大株主

株主名	持株数	持株比率
住友化学株式会社	7,247千株	50.58%
NORTHERN TRUST GLOBAL SERVICES SE, LUXEMBOURG RE CLIENTS NON-TREATY ACCOUNT	331	2.31
INTERACTIVE BROKERS LLC	246	1.72
MSHIP CLIENT SECURITIES	226	1.58
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	213	1.49
テックス・テクノロジー株式会社	206	1.43
田岡従業員持株会	157	1.09
増谷行紀	144	1.01
J P モルガン証券株式会社	133	0.93
PERSHING SECURITIES LTD CLIENT SAFE CUSTODY ASSET ACCOUNT	128	0.89

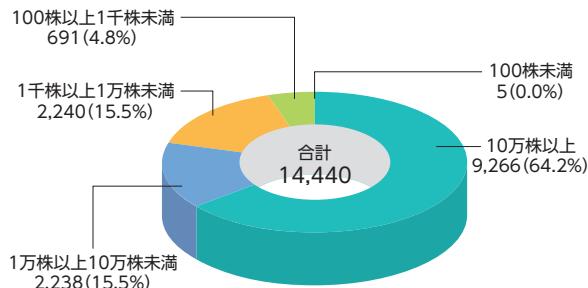
(注) 持株比率は自己株式（111,280株）を控除して計算しております。

株式の分布状況

所有者別状況（単位：千株）



所有株数別状況（単位：千株）



連結子会社

	会社名	所在地	資本金	当社の議決権比率	主要な事業内容
国内	株式会社田岡化学分析センター	大阪市淀川区	百万円 30	% 100	各種環境分析等
海外	タオカ ケミカル インド プライベート リミテッド	インド共和国・ チェンナイ市	百万インドルピー 200	% 100	瞬間接着剤の製造・販売等
海外	田岡化工材料（上海） 有限公司	中華人民共和国・ 上海市	千人民元 16,939	% 100	絶縁被覆材料、化学品原料・ 製品の輸出入、販売

■ 会社の概要

商 号	田岡化学工業株式会社
設 立	1934年10月29日
資 本 金	1,572百万円
事 業 所	<p><本 社> 大阪市淀川区新高3丁目9番14号 (ピカソ三国ビル7階)</p> <p><営業所> 営業本部 (大阪市淀川区) 営業本部東京支店 (東京都中央区)</p> <p><工 場> 淀川工場 (大阪市淀川区) 播磨工場 播磨地区 (兵庫県加古郡播磨町) 愛媛地区 (愛媛県新居浜市)</p>
従 業 員 数	424名 (単体、契約社員・嘱託・パート含む)

■ 役 員

代表取締役 社長	佐々木 康 彰
取締役 副社長	岩崎 明
常務取締役	松尾 俊 二
取 締 役	伊美 勝 治
取 締 役	伊瀬 基 之
取 締 役	岡嶋 謙
取 締 役	福田 加奈子
社外取締役	田辺 陽
取締役 (監査等委員)	乾 禄 治
社外取締役 (監査等委員)	小西 弘 之
社外取締役 (監査等委員)	藤 咲 雄 司
社外取締役 (監査等委員)	矢 倉 昌 子



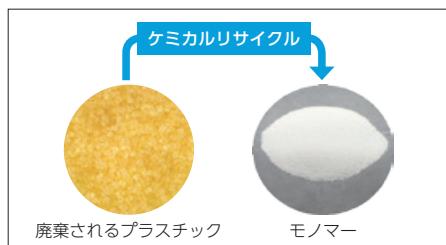
TOPICS

SDGsの取り組み(プラスチックのリサイクル)

スマートフォンやタブレット等のカメラレンズを生産する工程で廃棄されるプラスチックについて、資源循環と廃プラスチック削減を目的として、ケミカルリサイクル*することにより、光学樹脂レンズモノマーとして再利用する研究を推進しております。

これまでと同様に発注元のニーズを的確に応える研究開発を進めていくとともに、このような研究開発を通じて、より環境に優しくサステナビリティに配慮したモノづくりを進めてまいります。

* ケミカルリサイクル：廃棄物に化学的処理を行い、原料にリサイクルする方法



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(WEBサイト) ☎0120-782-031 受付時間9:00~17:00(土日休日を除く)

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

株主の皆さまの声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp?accessKey=4113twMN>

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」☎ koekiku@pronexus.co.jp

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、株主名簿管理人にご照会ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます)を開設しております。

特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(<https://www.taoka-chem.co.jp/>に掲載)(ただし事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載)

なお、当社の貸借対照表ならびに損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)に開示しております。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

株式に関するマイナンバーお届出のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様
上記に記載の三井住友信託銀行株式会社 証券代行部までお問い合わせください。

田岡化学工業株式会社

〒532-0033

大阪市淀川区新高3丁目9番14号(ピカソ三国ビル7階)

TEL 06-7639-7400 FAX 06-7639-7404

<https://www.taoka-chem.co.jp>

